

令和7年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-04-01		
施設名	ゆいの森あらかわ				
所在地	荒川区荒川二丁目50番1号				
部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	23~28年度	6,655,091	国・都	3,817,000
	増改築①			区債	2,006,485
	増改築②			一般財源	
併設施設					
竣工年月日	平成29年1月31日		区職員	85	
供用開始年月日	平成29年3月26日		職員数	20	
構造	鉄筋コンクリート造		階層	地上5階・地下1階	
面積	敷地面積		4,111 m ²		
	延床面積		10,944 m ²		
設置目的・経緯	利用者が自ら学び体験し、人と人が交流できる地域の文化やコミュニケーションの拠点づくりを推進する。				
関連部署	地域図書館課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立ゆいの森あらかわ条例				
駐車場の状況	12台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	370台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	(1) ゆいの森あらかわ事務管理・運営に関する事業 (2) ゆいの森あらかわ子どもひろば運営等に関する事業 (3) 吉村昭記念文学館推進事業 (4) 中央図書館運営事業					
対象者	区民等					
運営時間等	運営時間	午前9時00分～午後8時30分				
	休日	毎月第3木曜日、特別整理日、年末年始 他				
施設基本データ等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(見込み)
	来館者数	510,961	618,902	684,244	718,631	725,315
	利用登録者数	31,994	34,739	39,728	42,094	46,373
	所蔵資料数(点)	419,233	427,517	433,463	442,745	451,359
	貸出利用者数(人)	182,970	271,778	287,860	290,502	299,864
	貸出資料数(点)	738,031	744,966	738,892	736,477	740,112
	開館日数(日)	335	338	339	338	338
	イベント開催数(回)	350	405	456	477	482
に指定管理 に係る費用						
備考						

III 財務諸表

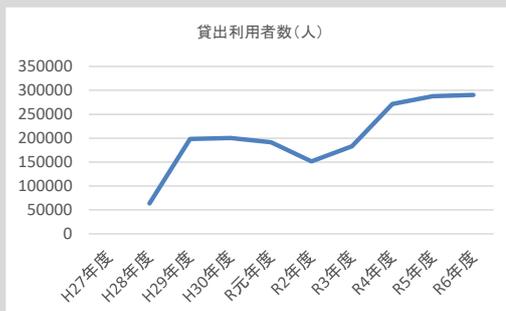
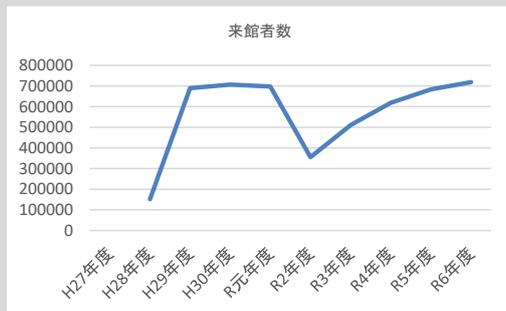
(単位:千円)

	勘定科目			R5年度	R6年度	差額	勘定科目			R5年度	R6年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	行政収入				流動負債	固定負債	負債の部合計			
行政コスト計算書	給与関係費	382,083	450,899	68,816	地方税等	0	0	0	0	0	0	
	物件費	306,471	322,980	16,509	国庫支出金	2,752	5,156	2,404	2,752	5,156	2,404	
	維持補修費	11,954	18,013	6,059	都支出金	2,699	3,220	521	2,699	3,220	521	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	0	0	
	補助費等	4,046	2,435	▲1,611	使用料及び手数料	8,427	8,984	557	8,427	8,984	557	
	減価償却費	252,691	252,691	0	その他	7,348	10,795	3,447	7,348	10,795	3,447	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	21,226	28,155	6,929	21,226	28,155	6,929	
	賞与・退職給与引当金繰入額	13,090	24,353	11,263	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲949,109	▲1,043,216	▲94,107	▲949,109	▲1,043,216	▲94,107	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲7,364	▲6,791	573	▲7,364	▲6,791	573	
	行政費用合計(b)	970,335	1,071,371	101,036	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲956,473	▲1,050,007	▲93,534	▲956,473	▲1,050,007	▲93,534	
特別費用(g)	833	0	▲833	特別収入(f)	0	0	0	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲833	0	833	当期収支差額(e)+(h)	▲957,306	▲1,050,007	▲92,701	▲957,306	▲1,050,007	▲92,701		
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	273,525	351,121	77,596	273,525	351,121	77,596
	固定資産	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	260,154	336,038	75,884	260,154	336,038	75,884
		有形固定資産	6,391,014	6,146,190	▲244,824	賞与引当金	13,371	15,083	1,712	13,371	15,083	1,712
		土地	1,622,139	1,622,139	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0	0
		建物	6,431,429	6,431,429	0	固定負債	1,670,174	1,339,475	▲330,699	1,670,174	1,339,475	▲330,699
		建物減価償却累計額	▲1,696,168	▲1,938,502	▲242,334	特別区債	1,584,055	1,248,017	▲336,038	1,584,055	1,248,017	▲336,038
		工作物等	63,760	63,760	0	退職給与引当金	86,119	91,458	5,339	86,119	91,458	5,339
		工作物等減価償却累計額	▲30,147	▲32,637	▲2,490	その他の固定負債	0	0	0	0	0	0
	無形固定資産	79	47	▲32	負債の部合計	1,943,699	1,690,596	▲253,103	1,943,699	1,690,596	▲253,103	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	4,475,146	4,475,558	412	4,475,146	4,475,558	412		
その他の固定資産	27,752	19,917	▲7,835	正味財産の部合計	4,475,146	4,475,558	412	4,475,146	4,475,558	412		
資産の部合計	6,418,845	6,166,154	▲252,691	負債及び正味財産の部合計	6,418,845	6,166,154	▲252,691	6,418,845	6,166,154	▲252,691		
備考	行政費用では、主に給与関係費及び物件費(光熱水費等)、施設の維持補修費が増加し、補助費等(報償費)が減少した。行政収入では、補助金に係る国庫支出金及び都支出金が増加し、来館者の増に伴い地下駐車場使用料、カフェ・自動販売機の貸付料(使用料及び手数料)及びグッズの売上、乳幼児一時預かり利用料(その他)等も増加している。											

指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	19.0	23	27	30.3	
1㎡当たりコスト(円)	92,599	89,260	88,666	97,898	
人にかかるコストの割合(%)	38	41	41	44.4	
蔵書回転数(貸出冊数/蔵書数)	2	2	2	2	
貸出1冊当たりコスト	1,373	1,311	1,313	1,455	
開館1日当たりコスト(円)	3,025,021	2,890,053	2,862,345	3,169,737	
利用者1人当たりコスト(円)	1,983	1,578	1,418	1,491	
備考	前年度と比較して、1㎡当たりコストが9,232円、開館1日当たりのコストが307,392円、利用者1人当たりのコストが73円増加している。これは、行政費用(給与関係費、物件費(光熱水費)、維持補修費等)が増加したためである。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	入館者数	実績値 510,961	目標値 580,000	650,400	676,800	725,315
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	子どもから大人まで、あらゆる世代に利用され、知の情報発信基地、地域コミュニティの中核施設としての役割を担っており、必要性は高い。					
現状・課題	<input type="radio"/> 安全で安心して滞在できる快適な施設となるよう、利用者のニーズに応えたサービスの提供や利用者の視点に立った環境の整備をさらに行っていく必要がある。 <input type="radio"/> いつまでも新しい発見や変化を感じられる魅力ある施設となるよう、読書を楽しむまち・あらかわ宣言及び豊かな心を育む読書のまちづくり条例の趣旨を踏まえた各種事業、イベントや展示等を継続的に実施していく必要がある。 <input type="radio"/> 区民に身近で愛される施設となるよう、ゆいの森の運営をサポートするボランティアの育成を図っていく必要がある。 <input type="radio"/> 施設の計画的な修繕の実施や予防保全の観点から施設の中長期的な修繕計画を検討することにより、施設の長寿命化を図る必要がある。					
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 職員の待遇のさらなる向上のための研修等の実施、安全・安心な施設運営・環境の整備 <input type="radio"/> イベント、企画展示等の計画的な実施、他部署や関係機関、地域団体等多様な団体との連携 <input type="radio"/> 各種ボランティア講座の開催、ボランティアの活動の場の提供、各種ボランティア団体の交流・連携 <input type="radio"/> 施設の定期点検等を通じた計画的な修繕の実施、予防保全の観点から施設の修繕計画の検討					
議会、利用者等からの意見	平成29年6月会議 福井県立文学館や、他自治体との交流・連携について 令和2年文教子育て 絵本館のサインの充実について 令和2年文教子育て 本との出会いのきっかけとなる取組について 令和6年6月会議 企画・展示の更なる充実について					



来館者数が令和2年度に減少しているのは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため臨時休館やサービスの一部を停止としたためである。

貸出利用者数が令和2年度に減少しているのは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため臨時休館やサービスの一部を停止としたためである。